

第1回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会 要点記録

会 議 名	第1回板橋区ボランティア活動推進協議会専門部会
開 催 日 時	令和4年10月27日（木）午前10時から正午まで
開 催 場 所	いたばし総合ボランティアセンター 第1NPO ルーム
出 席 者	<p>[委員]7人(敬称略) 長澤重隆（部会長）、松村良子、沼和子、矢野由加、平野江里子、前田康夫、林栄喜（欠席：2人）</p> <p>[オブザーバー] いたばし総合ボランティアセンター所長・副所長</p> <p>[事務局] 地域振興課長、地域振興課地域振興係職員</p>
会議の公開 （傍聴）	非公開、ただし要点記録は作成
傍聴者数	なし
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長の選任 3 会長代理の選任 4 協議会振り返り（課題ヒアリングシート、現状と課題） 5 あり方検討会での将来像・基本理念（案）の提言内容確認 6 課題ヒアリングシート分類の確認 7 新たな視点（D分類）について 8 分類ごとに将来像・基本理念（案）の検討 9 閉会
配 付 資 料	<p>資料①-1 令和4年度ボランティア活動推進協議会専門部会一覧</p> <p>資料①-2 課題ヒアリングシート分類案</p> <p>資料①-3 課題解決案（学識経験者意見）</p> <p>資料①-4 ボランティアセンターからの現状と課題</p> <p>資料①-5 あり方検討会からの提言</p> <p>資料①-6 協議会検討事項 体系図</p> <p>資料①-7 プラットフォームについて</p>
事 務 局	<p>1 開会</p> <p>本日はお忙しいところ皆様お集まりいただきましてありがとうございます。定刻前ではございますが、皆様お集まりいただきましたので、ただいまから第1回ボランティア活動推進協議会専門部会を開会させていただきます。会長が選任されるまで、事務局の方が進行役を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いたします。この専門部会ですが、令和4年8月2日に開催された第1回ボランティア活動推進協議会において、協議会の円滑な運営のために専門部会の設置が承認されたところでございます。主に協議会からの下命を受けまして、より専門的課題を検討することを目的として、9名の委員で構成されております。残念ながら本日、2名ほど欠席になっております。また部会委員の率直な発言と意見交換により、活発な議論を行えるよう、協議会</p>

	<p>委員以外の傍聴は行わないということも、第1回協議会にて承認されております。</p> <p>なお、会議録を作成する関係から、議事の内容を録音させていただいております。どうか会議録をそのままを出すということはないので、お気軽にご発言願いたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。それでは事務局の方から何点かご説明をさせていただきます。</p> <p>会議に先立ちまして皆さんと共有したい事項がございますので、3点ほどをお伝えいたします。1点目が、この専門部会は、今年度3回の開催を予定しております。本日の10月、12月、2月の計3回と、来年度の4月以降なんですが、2回ほどを予定をしております。時期につきましては、また皆さんと調整して決めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>2点目が、こちらの専門部会では協議会の方から下命を受けて検討しまして、その結果を、専門部会の素案という形で、また協議会の方にフィードバックをします。こちらのほうで、審議し最終的に決定をするという流れになりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>3点目が、こちらの専門部会は、学識の先生が2名ほど協議会の委員になられているんですが、かなり多忙ということで、こちらの専門部会の委員にはなってございません。このためこちらで検討した検討状況や、素案作成については随時学識の先生方に情報共有という形をさせていただいて、先生の見解も伺った上で、専門部会としての意見をまとめていきたいと思っておりますので、その点もどうぞよろしく願いいたします。以上3点、共有事項ということでよろしく願いいたします。</p> <p><配付資料の確認></p>
事務局	<p>2 会長の選任</p> <p>それでは、次第に沿って進めていきたいと思っております。こちらの専門部会も部会長を置くことになっております。板橋区ボランティア活動推進協議会運営要綱第10条第1項の規定によりまして、部会長は委員の互選によることとされております。どなたか部会長のご推薦をいただきたいのですけれどもいかがでしょうか。お願いいたします。</p>
委員	<委員から長澤委員の推薦あり>
事務局	ただいま長澤委員へのご推薦がございましたけれども、皆様いかがですか。
委員	<委員からの異議なし>
事務局	ありがとうございます。異議なしとの声がございました。長澤委員、部会長をお引き受けいただくということでよろしいでしょうか。
委員	はい。
事務局	それでは長澤委員を専門部会長に決定させていただきます。早速ではございますが、長澤部会長にご挨拶をお願いいたします。
部会長	<部会長挨拶>
	<p>3 会長代理の選任</p>

事務局	長澤部会長どうもありがとうございました。続きまして次第の3会長代理の選任に入りたいと思っております。部会長代理ですが、要綱第10条第3項で、部会長が指名することとなっております。長澤部会長どなたか推薦はありますでしょうか。
部会長	<長澤部会長から松村委員の推薦あり>
事務局	ただいま、長澤部会長から松村委員をご指名いただきました。皆様よろしいでしょうか。
委員	<委員からの異議なし>
事務局	異議なしとの声がありました。松村委員、部会長代理をお引き受けいただくことよろしいですか。
委員	はい。
事務局	どうぞよろしくお願いいたします。それでは松村委員を部会長代理に決定させていただきます。早速ですけれども、ご挨拶をよろしくお願いいたします。
部会長代理	<松村部会長代理より挨拶あり>
事務局	それでは、ここからの進行につきましては、長澤部会長にお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
部会長	4 協議会の振り返り(課題ヒアリングシート、現状と課題) 5 あり方検討会での将来像・基本理念(案)の提言内容確認 それでは早速、部会を改めて開催したいと思います。次第に沿って進めたいと思います。次第の4番目にあります協議会の振り返りですね、それから5番目にあります、将来像あるいは基本理念の提言について、配られた資料をもとに、事務局の方から改めて説明させていただきます。
事務局	<事務局から資料に沿って説明>
部会長	この資料ご説明いただいて、まず今日探っていかななくてはならないことを、資料をもとにして出しております。ここに書かれていることは抽象的なあるいは専門的な言葉が多いので、分かりづらいところもあるはずですが、このボランティアセンターをこれから未来に向かってどのように成長させていくかをこんな言葉で表現できたら、ボランティアセンターが地域の方に理解してもらえるのではないかと等、それぞれ思いがあります。私たちの任務は、そこを構築していきたいということです。資料①-6の最後に説明のありました木の中に、理念が盛り込まれて、これからの将来像を創っていくという。そういうイメージで将来像等がどういう形で表現されたいのかということ、今日、皆さんで探っていきたいというのが今回の目的です。運営方法とか運営方針はまた別個ですので、理念ができてから作っていくのと、ベースになっているコンプライアンスの理解は当然社会生活を担っていくためにはSDGsの理念、社会であるべき姿も大切な要素になっていくので、それも当然複合的に重なって盛り込まれていくこと等を踏まえて、皆さんそれぞれ活躍されている立場で、そういうことを踏まえて反映していきたいと思っております。

委員	<p>6 課題ヒアリングシート分類の確認(委員意見抜粋) 7 新たな視点(D 分類)について(委員意見抜粋) 8 分類ごとに将来像・基本理念(案)の検討(委員意見抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体とSNS両方必要だと思うが、今後SNSで完結できるところまで募集・マッチング、実際やった方が個人の履歴みたいについてどんなボランティアをしたのか確認したり、地域でどんなボランティアをされている人が多いとか、そういう分類も出来たらよいのではないかと。 ・ボランティアに対して若い世代を取り入れていけるものが何かあったらいいのではないかと。 ・中間支援組織がどういうものかということは最終的にはわかりやすく、「人と人をつなぐ」それだけだと思う。 ・ボランティアセンター活動を端的に、わかりやすいフレーズで説明できると良いと思う。 ・中学生でもわかる文言で作れるといいのではないかと。 ・体験談や感想を情報紙やSNSで発信してもらうことが大事だと思う。 ・人となりが分かっていると安心してボランティアに入れる。 ・データベース化ということシステム化ということにも繋がるので、今後の議論の中にもぜひ協議していきたい ・外来語を混ぜながら、そういった言葉を入れて若い人にも理解してもらえと思う。 ・プラットフォームというのがそもそも「駅」。駅そのものに色々な電車の路線や、人が入ってきて、乗り換えていくという意味では、機能なのだと思う。 ・ボランティアセンターにボランティアを入れて、プロボノとか入れていくのもありなのではないか ・ボランティアセンターには教育の機能があるのかと思う。 ・外国人という人たちも視野に入れていけたら。 ・エリアで住民の年齢構成が違うので、板橋区の中でも、分類があるのであれば、ちょっと住民に合わせた形で、データベース等分けておけると理想的なのかなと思う。 ・地域ごとの個別ニーズのある区内の地域性に合わせる ・区内18ヶ所に地域センターがあり、よろず相談を始めており窓口を設けている。 ・地域でやる分には、かなり顔も見えているというか、かなり地域でそういったところに参加する人が増えると前からやってくれている方々とつながっていけるのではないかと。
部会長	<p>9 閉会</p> <p>そろそろ時間も来ましたので、第1回目はここまでということで。事務連絡はありますか。</p>
事務局	<p>皆様ありがとうございました。いろんな貴重なご意見をまとめさせていただいて、今回は将来像と基本理念の部分になりますので、そこに反映できるものを事務局並びに先生と詰めていきたいと考えております。そうしましたら、次の第2回の専門部会の日程の候補日ございます、次第の方の一番下にあります専門部会、12月14日もしくは12月21日いずれも14時から16時の約2時間程度を予定しているんですが、いずれかご都合の悪い方、いらっしゃいますでしょうか。今日出席されていない2名の方もいらっしゃいますので、確認をしてメールでまたお伝えをしたいと思います。会場は、14日はいたばし総合ボランティアセンター、もしくは21日だと区役所の会議室になります。また日程調整させていただきましてご連絡をいずれかの日にちで開催させていただく形でご連絡をいたしますので、どうぞよろしくお願ひします。</p>

部 会 長	それでは時間になりましたので以上をもちまして、第1回ボランティア活動推進協議会専門部会を終了いたします。皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。
所 管 課	区民文化部地域振興課 地域振興係 （電話 3579—2163）